



20 部内第 18 號

和蘭ノ取扱ニ關スル件

昭和一六 一三 四
連絡會議決定

下和蘭ニ對シテハ同國トノ間ニ戰爭狀態發生スルニ至ル迄ハ準敵國

トシテ取扱ヒ暗號ノ使用ヲ禁止シ公使及館員等ニ對シ嚴重ナル保護及監視ヲ加フ(從テ敵國側トノ交渉モ全然ナシ得ス)

三、和蘭ヨリ宣戰シ來ル場合ハ我方ハ和蘭トノ間ニ戰爭狀態發生セザル

旨ヲ聲明ス又和蘭カ宣戰セサルニ先チ同國トノ間ニ戰爭狀態發生スル場合ハ我方ヨリ右同様和蘭トノ間ニ戰爭狀態發生セル旨ヲ聲明シ以後國際法上和蘭ハ之ヲ敵國トシテ取扱フモノトス

註、(1)和蘭政府ヲ否認スル利益ハ否認ト同時ニ公使ヲ私人トシテ取扱ヒ得ル點ニアルモ既ニ一、ノ取扱ヒ得ル以上其ノ必要ナ

カルヘシ

(c) 和蘭政府ヲ否認セハ法理上和蘭ハ我居留民等ノ保護ニ付國際法上ノ責任ナキニ至ルヘク又戰爭狀態發生後モ日本トノ關係ニ於テ國際法上ノ拘束ヲ受ケサル立場ニ置カレ又我方領事官ノ引揚ニ付不便ヲ生スヘシ

(b) 和蘭政府ハ今日迄事實上之ヲ相手トセル次第ニテ直チニ之ヲ否認スルモ前記(1)以外ニハ利益ナク又和蘭トノ開戦ノ際之ヲ否認セントスルハ既ニ純然タル敵國トシテ取扱ヒ得ル後ナルヲ以テ其ノ必要ナシ